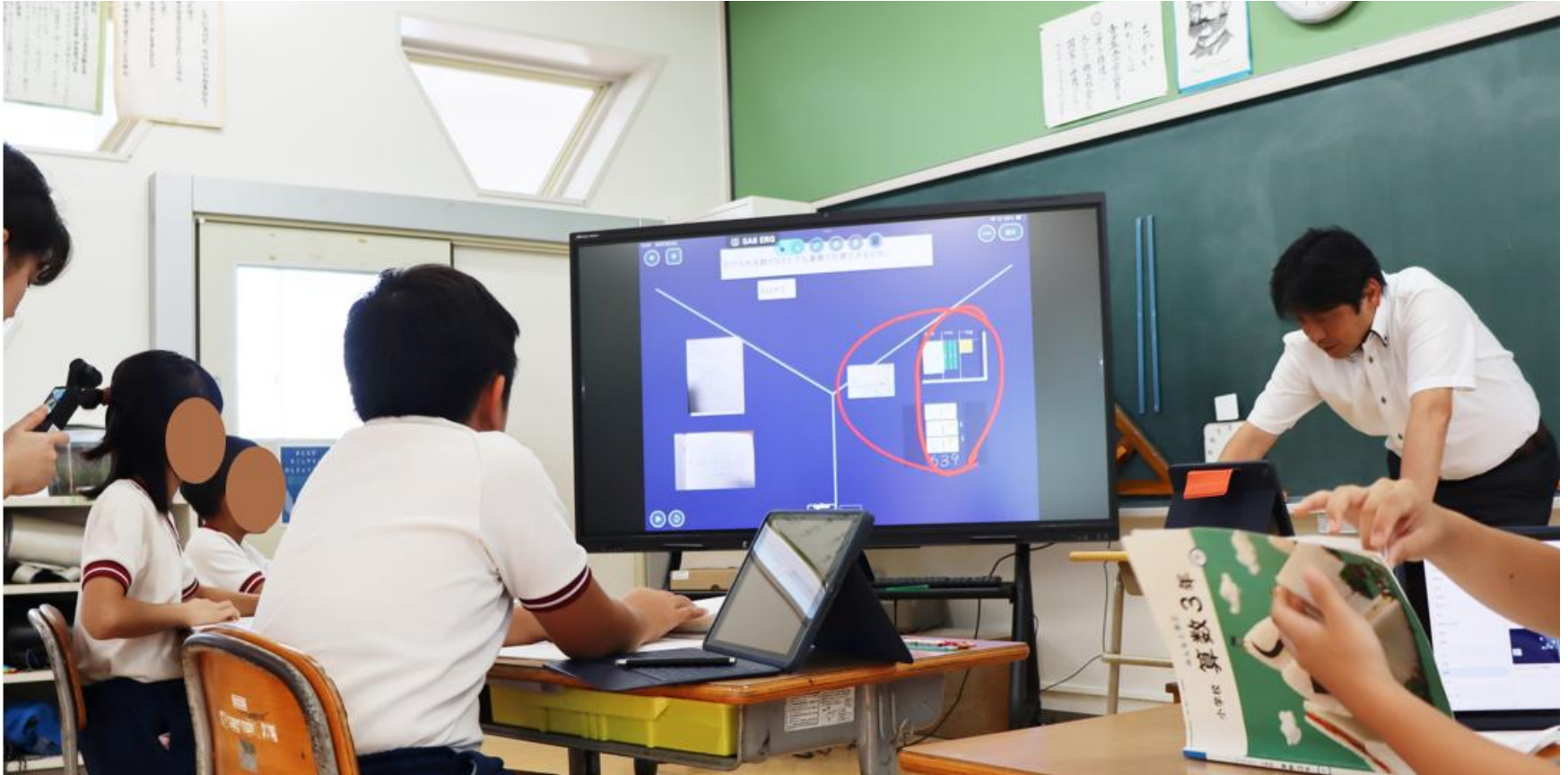


リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立桜峰小学校（鹿児島県）【協力校】

【取組内容】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」 予習型学習におけるタブレットでの課題提出



児童は家庭で予習を行うため、毎日端末を持ち帰り、学習支援ソフトで担任へ提出する。

担任は、提出者、未提出者の確認を行えるため、児童の状況に応じて声を掛けられる。また、提出後に授業での発表を聞いて、児童が自分たちで考えを分類することもできる。